

キュウリ

有機栽培設計例（10アール当り）



1. 基肥

銘柄	10R施肥量	備考
完熟堆肥	5 リューベ	必ず完熟のものを利用すること。
TB21エース	60 kg	微生物土壌改良資材 病気予防
微量要素 貝化石	200 kg	土壌安定化に。アルカリ資材。
ニーム顆粒	60 kg	自然植物資材(ニーム) 虫予防
TBボカシ肥料	450 kg	茶葉・糠が主体。NPKが3:4:3。
苦土資材	kg	例: マグアース2号 水溶性苦土53%。60kg。

2. 土壌調整

酸性土壌の場合、PH調整のため貝ガラ石灰5袋(100kg)を施与。

3. 施肥畝立

基肥を全面散布後、耕転して植えつける。

畝間240cm、条間120cm、株間60cm。

通路の下は排水を考慮して溝下にモミガラなどを施肥、耕転。

【注意】 未熟堆肥を使用した場合、発酵して根が焼けることがあるので注意すること。

4. 病害虫対策

◆葉面散布◆

活性微生物(病気抑制) クリーンTB21リキッド(2000倍希釈)

植物オイル(害虫抑制) ニームオイルアクト(1000倍希釈)

鉬物微量元素(成長促進) 天然ミネラル-1(4000倍希釈)

5. 追肥

有機液肥等を施肥。木が弱ったときは、2週間毎に10アールあたりボカシ肥料2袋(30kg)を通路際のベツに追肥すること。